



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月6日

上場会社名 株式会社 エスライン

上場取引所 東名

コード番号 9078 URL <http://sline.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山口 嘉彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 白木 武

TEL 058-245-3131

四半期報告書提出予定日 2020年11月9日

配当支払開始予定日

2020年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	23,519	△5.4	497	△11.4	570	△5.9	384	23.7
2020年3月期第2四半期	24,860	1.7	561	△37.0	605	△34.1	311	△45.5

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 525百万円 (96.0%) 2020年3月期第2四半期 267百万円 (△63.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	35.50	—
2020年3月期第2四半期	28.21	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	40,068	24,236	60.5
2020年3月期	40,597	23,821	58.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 24,236百万円 2020年3月期 23,821百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	8.00	—	10.00	18.00
2021年3月期	—	8.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	10.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,550	△5.0	952	△2.3	1,035	△2.2	624	△80.0	57.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	11,095,203 株	2020年3月期	11,095,203 株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2021年3月期2Q	253,670 株	2020年3月期	253,442 株
------------	-----------	----------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期2Q	10,841,700 株	2020年3月期2Q	11,026,985 株
------------	--------------	------------	--------------

※期末自己株式数には取締役に対する業績連動型株式報酬制度「株式給付信託(BBT)」および当社の一部のグループ会社社員対象の株式給付制度「株式給付信託(J-ESOP)」のために設定した株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式(2021年3月期2Q 135,400株、2020年3月期 135,400株)が含まれております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。(2021年3月期2Q 135,400株、2020年3月期2Q 62,654株)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。詳細は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料および四半期決算説明会資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

当社は、2020年11月25日(水)に決算説明会を開催する予定です。この説明会の資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(追加情報) .....	9
(セグメント情報) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響により、インバウンド需要の急減や、4月に発出された「緊急事態宣言」により、今までに類を見ない生活環境の変化や経済活動の停滞が続き、企業活動の停止や個人消費が大きく落ち込む等、極めて厳しい状況となりました。その後、経済活動は徐々に戻りつつあるものの、収束時期の見通しが立たないため、国内外経済の回復に向けた動きは見られず、先行きは極めて不透明な状況が続いております。

当社グループの主要な事業であります物流関連業界におきましては、昨年の消費増税以降、消費活動の低迷が続いていた中で、今年に入り、新型コロナウイルス感染拡大の影響によって、個人の消費活動がさらに冷え込み、また、国内外の物流も大きく制限されたため、貨物輸送量の減少傾向が続き、回復の兆しが見えない深刻な状況となっております。加えて、取扱い貨物量の減少や、労働時間の規制の適用開始により作業時間が減少したことによる雇用環境の確保等の課題もあり、当社グループを取り巻く経営環境は非常に厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは、2年目となります中期経営計画（スローガン：「“エスラインブランドの価値向上” Think next Value」）の経営目標達成と企業価値の向上に向けて、グループ一丸となって取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、営業収益235億19百万円（前年同期比5.4%減）、営業利益4億97百万円（前年同期比11.4%減）、経常利益5億70百万円（前年同期比5.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億84百万円（前年同期比23.7%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### [物流関連事業]

物流関連事業の主な事業収益は、貨物自動車運送事業、倉庫業、自動車整備事業、情報処理サービス業、損害保険代理業等があります。主なサービス部門として「輸送サービス」「物流サービス」「ホームサービス」があります。

トラックによる企業間輸送を主とする輸送サービス部門では、新型コロナウイルス感染拡大の影響により社会経済活動が制限され、あらゆる営業活動の自粛により消費活動が滞ったことから、海外からの輸入貨物や、国内貨物輸送量が減少する等、取扱い貨物量は減少を続けております。さらには、「緊急事態宣言」の発出により外出や行動範囲も一部制限されたことにより、適正運賃収受に向けた運賃改定交渉や新規営業案件獲得への営業活動が進まなかったこともあり、減収となりました。

商品保管や物流加工を行う物流サービス部門では、昨年より稼働を開始した新物流センター（飲料保管用自動倉庫）での保管業務が順調に推移し、収入増に寄与しました。また、一方では、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一時的にはマスクや消毒液、防護服等のコロナ関連商品の検品・加工業務や、巣ごもり消費が増加したことにより、菓子類や家庭内で使用する日用雑貨品の保管・配送業務が増加したものの、大手流通グループの専門店の閉店や、衣料品関連量販店での販売低下の影響を受けて、衣料品を中心とした保管・加工・配送業務が大幅に減少したこともあり、物流サービス部門全体では減収となりました。

大型貨物の個人宅配を行うホームサービス部門では、配送料金の改定による増収に加えて、ステイホーム・外出制限等の生活環境の変化に対応するための、エアコンや冷蔵庫を中心とした白物家電やステイホームのための家具類の販売が好調であったため、配送および設置業務が大幅に増加し、増収となりました。しかしながら、引越サービスでは、やはり新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて、単身者やオフィスの引越受注が減少しました。

以上の結果、物流関連事業全体では、減収となりました。

一方、利益面では課題であった備車費や外部委託費の削減を進めていた中で、新型コロナウイルス感染拡大による貨物輸送量の減少も重なったため、運行コースの再編による運行効率の改善や、土曜日・休日における集配作業の見直しを行い、自社員での内製化を強力に進めることにより、備車費や外部委託費を削減してまいりました。また、燃料単価も比較的安価で推移したことにより燃料費の減少もあって、営業費用全体は減少しましたが、営業収益の減少を補うまでには至らず、減益となりました。

この結果、物流関連事業の営業収益は231億38百万円（前年同期比5.3%減）、セグメント利益は6億27百万円（前年同期比11.5%減）となりました。

#### [不動産関連事業]

不動産関連事業におきましては、当社グループ各社にて保有している不動産の有効活用を図るために、外部への賃貸事業を営んでまいりました。本年3月に㈱エスラインギフが外部に賃貸しておりました東京都江東区の土地および建物を売却したことにより賃料収入が減少いたしました。

この結果、不動産関連事業の営業収益は2億25百万円（前年同期比10.5%減）、セグメント利益は1億15百万円（前年同期比10.9%減）となりました。

[その他]

主に、旅客自動車運送事業および売電事業を営んでおります。旅客自動車運送事業におきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、遠出や外部との交流が制限されたため、岐阜市近郊の大学および高校のスクールバス等の定期運行以外のクラブ・サークル活動等の遠征や冠婚葬祭時の送迎バス等、バス利用が大幅に減少し、減収となりました。

また、売電事業におきましては、㈱エスラインギフの名古屋第1・第2センター、豊橋支店、豊田支店、豊田センターおよび㈱スリーエス物流の本社第1センターの計6か所で発電を行っております。（総発電量1,333.96kW）

この結果、その他事業の営業収益は1億56百万円（前年同期比10.7%減）、セグメント利益は46百万円（前年同期比17.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の連結資産合計は400億68百万円となり、前連結会計年度末比5億28百万円減少しております。この主な要因は、現金及び預金の減少によるものであります。

また、連結負債合計は158億32百万円となり、前連結会計年度末比9億43百万円減少しております。この主な要因は有利子負債の返済による減少であります。

連結純資産合計は242億36百万円となり、前連結会計年度末比4億15百万円増加しております。この主な要因は利益剰余金の増加とその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末より16億31百万円資金が減少し53億33百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、11億82百万円の収入（前年同期は11億44百万円の収入）となりました。この主な収入は税金等調整前四半期純利益と減価償却費の計上であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、19億55百万円の支出（前年同期は11億25百万円の支出）となりました。この主な支出は有形固定資産の取得であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、8億59百万円の支出（前年同期は5億82百万円の支出）となりました。この主な支出は借入金の返済によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年8月6日の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、実際の業績につきましては、今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,298	5,455
受取手形及び営業未収入金	5,665	5,377
貯蔵品	77	71
その他	633	653
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	13,674	11,556
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,541	11,372
機械装置及び運搬具（純額）	2,676	2,491
土地	10,860	11,147
リース資産（純額）	120	100
建設仮勘定	1,222	651
その他（純額）	170	201
有形固定資産合計	24,592	25,965
無形固定資産	114	116
投資その他の資産		
投資有価証券	1,242	1,430
退職給付に係る資産	50	51
繰延税金資産	145	145
その他	787	812
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	2,215	2,429
固定資産合計	26,922	28,511
資産合計	40,597	40,068

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	5,035	4,705
短期借入金	320	230
1年内返済予定の長期借入金	1,258	1,689
未払法人税等	334	206
賞与引当金	464	469
役員賞与引当金	17	13
設備関係支払手形	0	—
その他	1,507	1,595
流動負債合計	8,937	8,910
固定負債		
長期借入金	1,803	737
繰延税金負債	2,538	2,595
役員退職慰労引当金	75	77
株式給付引当金	—	11
役員株式給付引当金	33	42
退職給付に係る負債	2,567	2,556
資産除去債務	502	597
その他	316	303
固定負債合計	7,838	6,921
負債合計	16,776	15,832
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,237	2,237
資本剰余金	2,959	2,959
利益剰余金	18,578	18,853
自己株式	△255	△255
株主資本合計	23,519	23,794
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	297	432
繰延ヘッジ損益	—	△1
退職給付に係る調整累計額	4	10
その他の包括利益累計額合計	301	441
純資産合計	23,821	24,236
負債純資産合計	40,597	40,068

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 （四半期連結損益計算書）  
 （第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）
営業収益	24,860	23,519
営業原価	23,443	22,212
営業総利益	1,416	1,307
販売費及び一般管理費	855	809
営業利益	561	497
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	14	15
受取賃貸料	15	12
助成金収入	5	37
持分法による投資利益	0	5
その他	21	16
営業外収益合計	58	87
営業外費用		
支払利息	4	3
売上割引	1	2
債権売却損	8	8
その他	0	0
営業外費用合計	14	14
経常利益	605	570
特別利益		
固定資産売却益	15	14
投資有価証券売却益	—	3
特別利益合計	15	17
特別損失		
固定資産除売却損	136	7
減損損失	8	—
特別損失合計	144	7
税金等調整前四半期純利益	477	580
法人税等	166	195
四半期純利益	311	384
親会社株主に帰属する四半期純利益	311	384

（四半期連結包括利益計算書）  
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）
四半期純利益	311	384
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△50	135
繰延ヘッジ損益	—	△1
退職給付に係る調整額	7	6
その他の包括利益合計	△43	140
四半期包括利益	267	525
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	267	525

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	477	580
減価償却費	881	890
減損損失	8	—
貸倒引当金の増減額（△は減少）	1	0
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△26	△1
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△35	2
賞与引当金の増減額（△は減少）	14	5
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△25	△4
株式給付引当金の増減額（△は減少）	—	11
役員株式給付引当金の増減額（△は減少）	8	8
受取利息及び受取配当金	△14	△15
支払利息	4	3
持分法による投資損益（△は益）	△0	△5
投資有価証券売却損益（△は益）	—	△3
有形固定資産売却損益（△は益）	△15	△14
有形固定資産除却損	135	7
営業債権の増減額（△は増加）	263	288
たな卸資産の増減額（△は増加）	△4	6
営業債務の増減額（△は減少）	△247	△329
その他	56	26
小計	1,479	1,457
利息及び配当金の受取額	17	17
利息の支払額	△4	△3
法人税等の還付額	108	135
法人税等の支払額	△456	△424
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,144	1,182
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△37	△54
定期預金の払戻による収入	11	265
投資有価証券の取得による支出	△1	△6
投資有価証券の売却による収入	1	11
有形固定資産の取得による支出	△1,176	△2,156
有形固定資産の売却による収入	16	15
無形固定資産の取得による支出	△3	△0
その他	63	△29
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,125	△1,955
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△10	△90
長期借入れによる収入	400	—
長期借入金の返済による支出	△583	△635
自己株式の取得による支出	△167	△0
配当金の支払額	△199	△109
その他	△22	△23
財務活動によるキャッシュ・フロー	△582	△859
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△563	△1,631
現金及び現金同等物の期首残高	4,432	6,965
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,868	5,333

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（追加情報）

前連結会計年度の有価証券報告書の「追加情報」に記載した「新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り」について重要な変更はありません。

（セグメント情報）

報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	物流関連 事業	不動産関連 事業	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	24,433	251	24,684	175	24,860	—	24,860
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	24,433	251	24,684	175	24,860	—	24,860
セグメント利益	708	129	838	39	877	△316	561

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、旅客自動車運送事業、売電事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△316百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社および㈱エスラインギフの総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	物流関連 事業	不動産関連 事業	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	23,138	225	23,363	156	23,519	—	23,519
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	23,138	225	23,363	156	23,519	—	23,519
セグメント利益	627	115	742	46	788	△291	497

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、旅客自動車運送事業、売電事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△291百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社および㈱エスラインギフの総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。